

うらくえん じょあん
有楽苑と国宝茶室如庵

織田有楽斎(1547~1621)は信長の実弟で茶の湯の創成期に尾張国が生んだ大茶匠であり、その生涯は波瀾に富んでいた。有楽は晩年、武家を棄て京都建仁寺の正伝院を隠棲の地とした。

如庵はその境内に元和4年(1618)ころ建てた茶室であり、現存する国宝茶席三名席の一つとして茶道史上貴重な遺構である。旧正伝院書院は如庵に連なる隠居所であり重要文化財に指定されている。明治以降、これらの遺構は各地を転々としたが、ようやく有楽の生れ故郷に帰りつき、安住の地を犬山に得て、「有楽苑」と名づけ後世に残すことになった。

如庵(国宝)

柿葺の端正な外観を示すこの茶室の内部は二畳半台目で床脇にウロコ板を入れ斜めの壁を作っているところから「筋違いの囲」といわれている。古暦を腰貼りにした暦貼り、竹を詰め打ちにした有楽窓、躰口の位置等随所に独創的な工夫がこらされている。



旧正伝院書院(重要文化財)

元和4年如庵に隣接して建てられた有楽斎の隠居所で入母屋造の温かな外観を示し、南側の主室は茶座敷にもふさわしい構えとなっている。内部に残る長谷川等伯・狩野山雪などの襖絵は美術史上貴重な資料。



びんあん
元庵

有楽斎が大阪・天満に構えた茶室を古図にもとづいて復元。三畳台目の茶室内部は奥に深い間取りで、亭主床と呼ばれる床構えになっている。



こうあん
弘庵

苑内で四季折々催される茶会のために新築された茶席。躰踏は水琴窟とよばれる仕掛で、反響する水音が琴のように風雅な音色を奏でる。



※建物内部は平常非公開となっております。



● 開苑時間	9 月 9 日 00 時 00 分	9 月 15 日 15 時 11 分	3 月 17 日 11 時 14 分
● 料金	9 月 16 日 16 時 17 分	9 月 22 日 8 時 31 分	9 月 30 日 10 時 14 分
● 入苑料	16 18 17	00 00 00	00 00 00
● 小入	1	1	1
● 呈茶料	6 0 0 0 円	3 0 0 0 円	6 0 0 0 円
● 貸席料	1 0 0 0 円	1 0 0 0 円	1 0 0 0 円
● 年間行事	特別見学会(要予約)	特別見学会(要予約)	特別見学会(要予約)
● 交通	名古屋方面から電車利用	名古屋方面から電車利用	名古屋方面から電車利用
● 交通	名鉄犬山線犬山遊園駅から徒歩7分(名鉄名古屋駅から40分)	名鉄犬山線犬山遊園駅から徒歩7分(名鉄名古屋駅から40分)	名鉄犬山線犬山遊園駅から徒歩7分(名鉄名古屋駅から40分)
● 交通	東京・大阪方面から自動車利用(東名・名神・中央道経由)	東京・大阪方面から自動車利用(東名・名神・中央道経由)	東京・大阪方面から自動車利用(東名・名神・中央道経由)
● 交通	小牧ICから国道41号五郎丸経由25分	小牧ICから国道41号五郎丸経由25分	小牧ICから国道41号五郎丸経由25分
● 交通	小牧東ICから県道多治見犬山線経由20分	小牧東ICから県道多治見犬山線経由20分	小牧東ICから県道多治見犬山線経由20分
● 交通	中部国際空港からタクシー利用	中部国際空港からタクシー利用	中部国際空港からタクシー利用
● 交通	所用時間約80分	所用時間約80分	所用時間約80分

有楽苑 〒484-0081 愛知県犬山市御門先1番地
TEL・FAX(0568)61-4608

名鉄犬山ホテル
〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券107-1
TEL(0568)61-2211

うらくえん
有楽苑

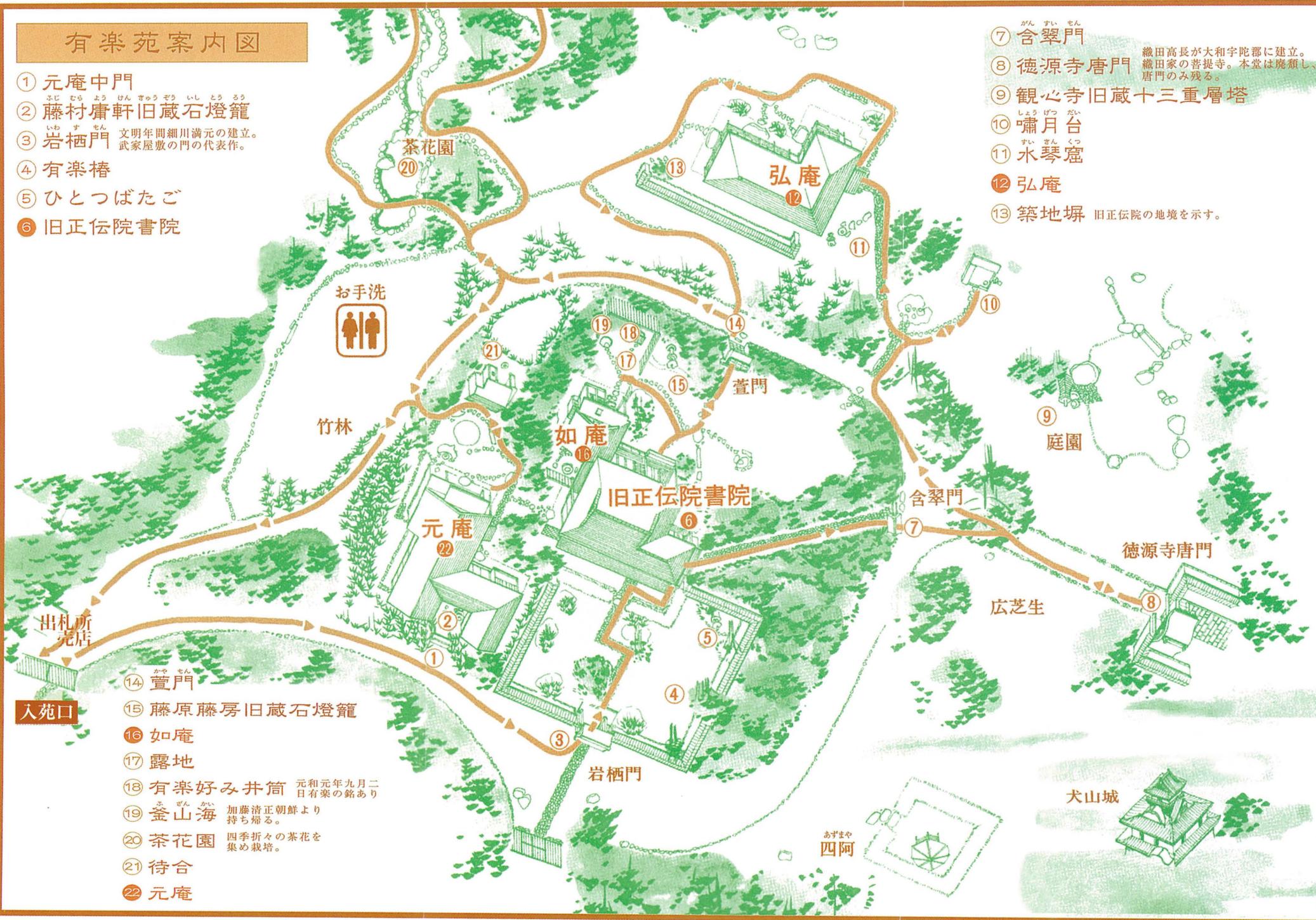


じょあん
国宝茶室 如庵

有楽苑案内図

- ① 元庵中門
- ② 藤村庸軒旧蔵石燈籠
- ③ 岩栖門 文明年間細川満元の建立。武家屋敷の門の代表作。
- ④ 有楽椿
- ⑤ ひとつばたご
- ⑥ 旧正伝院書院

- ⑦ 含翠門 織田高長が大和宇陀郡に建立。織田家の菩提寺。本堂は焼損し、唐門のみ残る。
- ⑧ 徳源寺唐門
- ⑨ 観心寺旧蔵十三重層塔
- ⑩ 嘯月台
- ⑪ 水琴窟
- ⑫ 弘庵
- ⑬ 築地塀 旧正伝院の地境を示す。



- ⑭ 萱門
- ⑮ 藤原藤房旧蔵石燈籠
- ⑯ 如庵
- ⑰ 露地
- ⑱ 有楽好み井筒 元和元年九月二日有楽の銘あり
- ⑲ 釜山海 加藤清正朝鮮より持ち帰る。
- ⑳ 茶花園 四季折々の茶花を集め栽培。
- ㉑ 待合
- ㉒ 元庵